

平成31年 (2019年) 4月22日 (月曜日)

令和元年 (2019年) 6月24日 (月曜日)



「馳走」の心

アメリカからホームステイを受け入れることになった福田さん一家。その女性、カルメンさんはベジタリアンで、肉や魚はもとより、卵や乳製品も食べられないとのこと。滞在中、お母さんは旬(しゅん)の野菜を食べてもらおうとこまめに買い物に出かけ、工夫を凝らして食事をつくりました。もちろん家族はそろって同じ料理を食へます。

カルメンさんは、ベジタリアンではない一家が自分に合わせてくれていたことに気づいたとき、

道徳で人と社会を幸せに

申し訳ない気持ちになりました。するとお母さんが「うちでは家族は皆、同じ料理を食べるの。あなたも日本にいる間は家族なんだから、気にしなくていいのよ」と。カルメンさんの表情はパツと明るくなり、心からの感謝の言葉を述べました。

「馳走」とは、お客様をもてなす用意のために奔走(ほんそう)するという意味です。一家のもてなしは、カルメンさんにとつてまさしく「馳走」といえるものだったので

「道徳」教科化—ヒントの泉

「ニューモラル心を育てる言葉366日」



「プラスの心」の生活習慣

「生活習慣病」とは、ある日突然やって来るものではなく、若いころからの生活習慣によって病気の根が徐々に広がっていき、ある年齢に達したときに症状が出るのだといえます。同様に、私たちの日々の小さな心づかいも、積み重ねると、人生を大きく変えていくのではないのでしょうか。

私たちの心は、プラスにもマイナスにもはたります。だからこそ、毎日の小さな行いを通して

道徳で人と社会を幸せに

して、「プラスの心」の生活習慣を持つように心がけたいものです。例えば、明るい挨拶をする、温かい言葉をかける、気持ちよく掃除をする、喜んで履物(はきもの)をそろえる、優しい気持ちで人に接する、等々……。

今すぐにできることを通して「プラスの心」を生活習慣にしていけば、自分の心に喜びが生まれ、周囲に幸福感を与えることができるようになるでしょう。

「道徳」教科化—ヒントの泉

「ニューモラル心を育てる言葉366日」

掲載日から2日間限定で10名様に**プレゼント!**  
道徳を考える月刊誌「ニューモラル」最新号

住所・氏名・「中津商工会議所」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください  
公益財団法人モラロジー研究所 〒277-8654 柏市ケケ丘2-1-1  
E-mail: book@morality.jp TEL: 04-7173-3155

掲載日から2日間限定で10名様に**プレゼント!**  
道徳を考える月刊誌「ニューモラル」最新号

住所・氏名・「中津商工会議所」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください  
公益財団法人モラロジー研究所 〒277-8654 柏市ケケ丘2-1-1  
E-mail: book@morality.jp TEL: 04-7173-3155